



Rotary 国際ロータリー第2530地区(旧承認番号 3992)

# 郡山ロータリークラブ

## WEEKLY REPORT 2023-2024

第33回

2024  
3.21

世界に希望を生み出そう

### 会長挨拶

菅野秀士 会長



皆さん、こんにちは。本日のゲストは、福島テレビ(株)気象予報士の齋藤恭紀さんです。どうぞ宜しくお願いします。残念な話ですが、大樹生命保険(株)郡山支社支社長佐藤昌宏君が退会となります。後任者も入会されるというお約束を頂いております。

米山記念奨学生のカウンセラーを中原幹事が引き受けて、来期は新しい米山記念奨学生が来ます。来年も新しい奨学生に対して変わらぬご愛顧と愛情、そしてお心配りをお願いしたいと思います。米山奨学事業は日本のロータリークラブ創設者である米山梅吉翁の生前の功績を称え、東京RCが始めた米山基金が始まりです。奨学金対象になるのは、来日している私費外国人留学生に限られております。彼らが将来有望な人材に育ち、いずれは日本と母国との平和の架け橋になって、国際親善や国際平和に貢献してくれることを期待して行っている事業です。ロータリーはこの事業維持のために一年間日本全国のロータリアン1人最低16,000円以上の寄付が必要となっております。是非皆様、ちょっとだけ良いことをしてみませんか。

### 幹事報告

中原喜範 幹事



3月9日(出)に、スリランカ米山学友会が中心になって「カレーを食べて能登半島に寄付」を行いました。総売上が121,200円、募金箱に20,200円、利益が69,423円で、すべてを能登半島の被災地に寄付したと報告が来ております。当日、ご協力を頂いた方、感謝申し上げます。

### 親睦活動委員会報告

安藤智重 副委員長



前の日曜日、麻雀大会が「王庁」にて行われました。第一位・五十嵐酋平さん、第二位・佐藤尚宏さん、第三位・太田宏さん、第四位・安藤智重でした。ゴルフコンペを4月27日、大玉でございますのでご参加をお願い致します。

### ニコニコBOX委員会報告

湯浅大郎 委員長

◎福島テレビ気象予報士齋藤恭紀さんの卓話、楽しみにしております。孫が大ファンです！

菅野秀士君

◎福島テレビ(株)気象予報士齋藤恭紀様、本日の卓話楽しみにしておりました。宜しく願い申し上げます。本日、第33回例会です。桜の開花が待ち遠しいですね。

中原喜範君

◎卓話、楽しみにしております。 平松敏郎君

◎本日もグラグラと来ました。皆さん、気をつけましょう！本日の卓話、宜しくお願いします。

高橋孝行君

◎遅ればせながら本日、米山奨学会とロータリー財団に寄付をしました。「ちょっとだけいいこと」をできたので、気持ちがいいです！

湯浅大郎君

### プログラム紹介 宮川雄次 委員長



本日は福島テレビ(株)気象予報士の齋藤恭紀様にお越し頂きました。齋藤様は気象予報士と防災士の資格をお持ちで、2014年から福島テレビの専属気象予報士として、分かりやすい予報と親しみやすいキャラクターで活躍されています。現在「レポートプラス」にもご出演中です。現在郡山市の防災気象アドバイザーで、郡山市民の命を守る活動にも尽力されております。宜しくお願い致します。

### ゲスト卓話

「郡山の気象と地震 教えて齋藤さん」

福島テレビ(株)  
気象予報士

齋藤恭紀氏



私は昭和44年2月生まれです。民間の気象情報会社ウェザーニューズというところに入社しました。今や一部上場の世界で一番の民間の気象情報会社になっています。その後、東北放送に入社し、現在は福島テレビで働かせて頂いております。郡山市の気象防災アドバイザーをやらせて頂いて、郡山市の危機管理課と最近毎日連絡を取っています。その他の、まち・ひと・しごと創生総合戦略という長期計画の委員、それから環境とか公園とか緑の基本計画の策定、総合治水策定の委員などもやらせて頂いています。

いつになったら春が来るんだというのが、皆さん一番知りたところだと思いますが、ズバリ言います。寒いのは明日までです。

## 保土谷化学工業(株)郡山工場

執行役員 郡山工場長 武居厚志

〒963-8802 郡山市谷島町 4-5  
TEL 024-944-1230 FAX 03-5299-8334

## 株式会社 武田商店

代表取締役 武田賢一

〒963-8017 郡山市長者 3-4-1  
TEL 024-932-0263 FAX 024-934-4665

ただ、今年は4月中旬頃にかけてまだ雪の降るリスクがあるので、桜が散るまではタイヤ交換を待って頂きたいなと思います。花見楽しみですよ。関西大学の宮本先生という方が面白い経済効果を出しています。今年の花見の経済効果は去年の1.8倍だそうです。阪神タイガースの優勝13回分です。コロナ五類移行、そして物価上昇、物価が上昇すると経済効果は高くなる。やっぱり外国人観光客がだいぶ増えてきているということ。来日期間が長くなった。そして対前年比32%増と見通している。と言う事で今年は多くの方が海外から福島に花見に来るでしょう。実際福島県内の宿泊者数の推移ですが、震災の前よりも多い。特に桜が好きなのは台湾の方です。台湾と福島空港にチャーター便が定期的に来て多くの方が郡山・福島・会津若松に訪れて来ています。県内の桜の名所の開花予想日です。開成山公園は4月5日です。これに3~4日足すと見ごろなので、今年のお花見ウィークは4月の第2週です。滝桜も2週目の週末が一番いいのかなと思います。去年よりも1週間ぐらい遅い。なぜかと言うと、桜は自分の体の中に積算温度計を持っていて、2月1日から最高気温を足していくと600℃で開花するんです。郡山市で一番最初に咲く桜をご存知でしょうか。駅前のローソン桜です。この2~3日後に開成山公園で咲きます。開成山公園には日本最古のソメイヨシノがあります。開成山公園の通り側です。DNA鑑定をしたら、日本で一番古いと言われている弘前公園の桜よりもより古いということが分かった。これは開成社が開墾の記念で植えたものです。

この夏の福島の天気はどうなるのか。福島の平均気温が120年で1.5℃上がっていますが、これは120年前の福島県は今の岩手県の気温でした。それだけ温暖化が進行している。白河の南湖では昔スケートができたんです。そして気温が上がれば空気中に含まれる水蒸気、雨の種はどんどん増加して行きます。だから温暖化が一番怖いのは、温度が上がって熱中症のリスクが上がるということだけでなく、大雨が増えるというリスクがあるということになります。実際気温が1℃上がると雨量は4~13%程度、海面水温が1℃上がると7~19%程度増えています。実際これは全国の1時間の50ミリ以上の年間発生回数ですが、1975年に比べると1.5倍以上に増えています。その中でも福島県は3倍増えているということになります。ですから郡山のゲリラ雷雨が多かったので、駅前が浸水してしまう。そこで郡山市としては下水道管、そして貯水槽、そういうものを造ったりとか、或いは川の護岸を造り直したり、川を掘ったりすることによって洪水のリスクを減らそうということで対策はとっておりますけど、それでもこれだけ増えるというのは今年の夏も心配だなということです。気象庁によると4月以降どんどん下がっていて、エルニーニョ傾向はなくなってきて夏秋にかけて逆のラニーニャになるということになります。去年台風は17個と、平年25個より大幅に少なかった。これはエルニーニョの影響です。ところが今年はラニーニャになり平年並みに発生し、災害リスクが一つ高くなるという事です。そして太平洋高気圧が強まり、今年も去年のようなウルトラ猛暑が待っている。しかも太平洋高気圧が弱まったタイミング

で南から湿った空気が流れやすくなるのでゲリラ雷雨、そして台風そのものにも注意が必要になります。

今年は正月から輪島の能登半島の地震がありました。企業の経営者としてリーダーとして、これがもし郡山で起きたらどうするべきかということを考えた皆さんが多かったのではないのでしょうか。企業の事業継続計画というのがあります。これを皆さんは立てておられますでしょうか。北陸銀行は訓練を定期的に行っていて、スマートフォンを社員に配って、何かあった時にきちんとグループ化して情報共有をして行こうというところで、必要な人員が集まってスムーズな対応ができた。富山県内のメーカーは設備などの耐震強化を図り大きな被害がなかった。池田模範堂は倉庫と連携し、昨秋から埼玉と大阪に物流拠点を設置していたということで、リスク分散をして事業を継続していたということがあります。災害で大きな損害を出さないためには、オフィス・工場が災害リスクのある場所かをまず知ることが前提です。例えば洪水のハザードマップで災害リスクを見つけた場合に、それが発生することを前提に危機管理計画を立てる。公助に頼らない自助をベースにしたリスクマネジメントをするということが必要だと思います。早期の災害復旧で社員の生活、顧客との信頼、復興・地域経済への貢献が実現できる。皆さんには是非対策を急いで頂きたいと思います。

地震のリスクはどうか。この10年で全国で最も地震が多い都道府県は福島県です。3.11が発生して、その後の余震活動が活発になった。この後、東日本大震災クラスの地震は福島県沖ではほぼ起こらないと言われていました。ところが2~3年前に起こったマグニチュード7台の地震は福島県で起こりうる。この30年以内で50%は起きます。東北地方の中で危険な断層があるのが山形県です。郡山にはこれといった断層が見つかっていません。福島や会津・相馬に比べると直下型のリスクは低いんです。地震は大きさだけでなく周期が重要です。周期というのは戻ってくるまでの時間です。これが1~2秒だと家屋を倒壊させる地震になります。郡山は直下型の地震のリスクはないんですが、東日本大震災時の中通りの世帯数に対する全壊割合ですが、福島市は0.18%の全壊割合、ところが郡山は1.89%、須賀川4.63%、矢吹4.74%。郡山から南のエリアが県北のエリアに比べて家屋の全壊が多かった。これはなぜかと言うと、実は郡山の下には古代湖があった。だからこのエリアは地震の揺れを強く受けてしまうというリスクがあります。私達は地震の巣の上に住んでいること、災害列島に生まれてきたことを自覚し、自分の命は自分で守る、家族の命は家族で守る、会社の未来は会社が守るといふ、これを前提にした事業の継続計画をすることをお勧めしたいと思います。

## 出席報告

酒井良胤 委員長



総員 / 106名 出席 / 52名 欠席 / 54名  
出席率 / 49.06% 前回修正率 / 55.56%  
他クラブ出席 / 2名

### 国際ロータリー2530地区 郡山ロータリークラブ

会長:菅野 秀士 幹事:中原 喜範  
例会場:郡山ビューホテルアネックス TEL 024-939-1111  
例会日:木曜日  
事務所:〒963-8001 郡山市大町1-2-17 大一ビル1階  
TEL 024-923-0729 FAX 024-939-5678  
郡山ロータリークラブウェブサイトはこちらから  
<http://k-rc.main.jp/>



### 次回 第35回例会

令和6年4月4日  
会員卓話

### 「自己紹介」

株式会社データバンク郡山支店 支店長 神尾友勝君

編集責任者:中原 喜範 編集:クラブ会報委員会 委員長:石井 祐一  
副委員長:鈴木 基修 委員:伊藤 清郷・伊藤 基文・前田 祐希



FSC® 森林認証紙使用